

2025（令和7）年度看護学生等実習指導者養成講習会 募集要綱

| | |
|--------------|--|
| 講習会目的 | 看護基礎教育課程における臨地実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を修得する。 |
| 受講要件 | 1. 県内の保健師、助産師、看護師もしくは准看護師養成所等の実習施設に勤務する実習指導者及び将来実習指導にあたる予定の者 2. 実務経験が5年以上の保健師、助産師、看護師 3. eラーニング及び実習指導者講習会の全過程に参加できる者 |
| 募集人数 | 50名 |
| 単位および 修了証 | 10単位（180時間）以上 出席時間、科目評価により単位認定し、必要単位を取得した者に修了証を交付 |
| 講習会期間 | 2025年7月28日（月）～9月26日（金）（eラーニング15時間含む） この間の30日間程度の予定（変更もあり） |
| 講習会会場 | 長野県看護協会会館 2階研修室 |
| 講習会内容 | 科目及び目標、内容は別紙一を参照してください。 |
| 講習時間 | 9：20～16：30（午前9：20～12：30 午後13：20～16：30）変更もあり |
| 募集期間 | 2025年5月7日（水） から 2025年 5月 21日（水） 必着 |
| 申し込み方法 | ① 協会ホームページから、研修情報管理システムのマイページに登録し、研修申し込みを行ってください。 ② <u>申し込み詳細のURLをクリック</u> して設問に沿って入力し、送信してください。 |
| 受講決定通知 | 2025年5月下旬に、受講決定を看護部責任者宛てに通知いたします。 要綱、講習会日程、事前準備については受講決定とともに送付させていただきます。 |
| 費用 | 資料代 30,000円（eラーニング費用含む） ・受講決定通知時に、振込方法のご案内を同封いたします。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・「保健師助産師看護師実習指導者講習会の実施要綱」の一部改正に伴い、単位、時間数、内容が変わりました。2021年度（令和3）開催の看護学生等実習指導者講習会から適用されました。このため、修了認定には必要単位取得（180時間以上）で修了証の交付となります。 また、同一受講者であれば受講開始後3年以内に限り単位を通算できることになりました。 ・eラーニングを活用いたします。eラーニングを受講できる環境が必要です。（自宅、施設内どちらで受講されても構いません） また、eラーニング受講時間（15時間）は、講習会日数に含まれます。 ・<u>募集人数を超えた場合は調整をさせていただきます。</u> |

※ 会員・非会員に関わらず、研修情報管理システム マイページへの登録が必須となります。

(別紙一)

保健師助産師看護師実習指導者講習会科目及び目標 (令和3年度より)

| 分野 | 内容 | 科目 | 目 標 及 び 内 容 | 時間数 | 単位数 |
|---------|----------|---|--|-----|-----|
| 基礎分野 | 教育の基盤 | 教育原理 | 教育の本質の基本知識、概念および必要な理論を学ぶ | 15 | 1 |
| | | | (1) 教育の本質、目的 (2) 教育活動の特性 | | |
| | | 教育方法 | 教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ | 15 | 1 |
| | | | (1) 授業の形態、教育方法及び教材の活用 (2) 教授-学習過程の理解 等 | | |
| | | 教育心理 | 人間の発達と教育課程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ | 15 | 1 |
| | | | (1) 成長発達に伴う学習者心理の理解 (2) 学習過程における心理 等 | | |
| | | 教育評価* | 教育評価の基本知識および必要な理論を学ぶ | 15 | 1 |
| | | | (1) 教育評価の目的と方法 (2) 講義・演習・実習評価の方法 等 | | |
| 専門分野 | 看護論 | 看護論 | 人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする | 15 | 1 |
| | | | (1) 看護の機能と役割 (2) 看護場面と看護観の再構成 (3) 健康の概念と健康支援 (4) 倫理的課題とその対応方法 等 | | |
| | 看護教育課程 | 看護教育論 | 看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる | 15 | 1 |
| | | | (1) 教育課程の基本知識 等 | | |
| | 実習指導の基盤 | (評価含む) 実習指導方法論 | 実習指導案について理解し、教授方法を学ぶ | 30 | 2 |
| | | | (1) 実習指導の方法 (2) 実習評価の意義と方法 等 | | |
| 実習指導の基盤 | 実習指導方法演習 | 実習指導の展開の実際を学ぶ | 60 | 2 | |
| | | (1) 実習指導案の作成及び評価 (課程別、学年別、専門領域別等) (2) 実習の評価 等 | | | |
| | | | 合計 | 180 | 10 |

*「教育評価」はeラーニング活用します。

*その他に特別講義・演習 38 時間、開講式・閉講式・オリエンテーション 10 時間があります。(変更もあり)